

明るい神奈川

平和で明るい神奈川県政をつくる会

〒231-0062

神奈川県横浜市中央区桜木町3-9 6F

TEL045-212-5855 FAX045-212-5745

https://www.akarui-kanagawa.jp



現在と未来の県民が幸せに生き働ける神奈川をめざす

異議
アリ!

県知事が違憲の『国葬』に 税金を使って参列

国民・県民の多くは『国葬』反対

岸田政権は、9月27日に安倍元首相の『国葬』実施を強行しました。マスコミなどの世論調査では、国民の5～6割が「反対」「評価しない」としていたにもかかわらず、まったく聞く耳を持たず、民意を完全に無視したものです。

そもそも『国葬』は、憲法14条の「法の下での平等」に違反し、憲法19条の「思想及び良心の自由」を侵して弔意を強制するものです。また国民・県民は、時の権力が何らの法的根拠もなく国会の審議も経ずに勝手に決めるやり方、物価高騰で生活が大変になっているときに莫大な税金を使うことなどに、怒りを示しました。

報道機関	9月調査の「反対」または「評価しない」の率
NHK	56.7%
朝日新聞	56%
読売新聞	56%
毎日新聞・ 社会調査研究センター	62%
日経新聞・ テレビ東京	60%
産経新聞・ FNN	62.3%
時事通信	51.9%
共同通信	60.8%

県民感覚とズレている 県知事

本来であれば、県民を代表する神奈川県知事は、国に対し問題点を指摘し参列をするべきでなかったと、「平和で明るい神奈川県政をつくる会（略称：明るい会）」は考えます。

ところが、黒岩県知事は、事前に参列することを当然視する発言をして、当日には税金を使って公務として参列しました。県民の総意を代表する県知事の対応として、相応しくないと考えます。

しかも、終わった後には、「日本のために偉大な足跡を残した安倍元首相を見送るにふさわしい厳粛で荘厳な国葬だった。…国葬を巡りさまざまな意見があったが、こういう風にお見送りできたことは良かったと思う」とコメント。物価高騰などで生活が大変になっている、多くの県民の感覚とあまりにもズレているのではないのでしょうか。



弔意の強制に一定の歯止め

「明るい会」の構成団体や様々な市民・団体などが、『国葬』実施や弔意の強制に反対して行動にとりくみ（裏面参照）、県内では自治体職場や学校などでの「黙とう」などの強制はなく、半旗も県では本庁舎などごく一部で掲げられただけでした。



神奈川県内でも

『国葬』中止を 求める様々な行動

約80人の大学人有志が、**反対の共同声明**

9月26日に、12人の学者の呼びかけで、約80人の神奈川県大学人有志（神奈川県内在勤・在住、または元在勤在住の大学人の有志）が賛同して、「安倍元首相国葬に反対する共同声明」が発表され、マスコミなどでも取りあげられました。

声明では反対する理由を、①「根拠法がなく、内閣の独断によるものである」、②「国民の良心の自由を侵害する。特に、大学を含む各種学校には、なんらかの弔意表明のための動員がなされ、児童、生徒、学生、教職員の内心の自由が脅かされる可能性があります」、③「非民主主義的な歴史的背景。戦前においては、国葬は天皇を中心とする国家イデオロギーを儀礼を通じて浸透させる役割を果たしていたのであり、それ自体反民主主義的であり、また軍国主義につながるものでした。そうした背景を持つ国葬を復活させるべきではありません」としています。

そのうえで、「わたしたちは、今回の国葬に反対し、特に神奈川にかかわりのある大学人として、県民のみなさんに、この国葬を認めないよう呼びかけます」と訴えています。



「明るい会」構成団体が**要請行動**

「明るい会」構成団体の新日本婦人の会神奈川県本部は、7月22日に神奈川県教育委員会に対して、「安倍元首相への弔意表明の強制をおこなわない」ことを求める文書を提出し、対応を求めました。

子どもや教職員に対する強制を行わないよう求めるとともに、安倍氏の個人的葬儀の際に、県内のいくつかの教育委員会が「半旗掲揚」などを学校に通知したことを受け、県教育委員会が同様の通知を各市区町村に対して行わないよう求めました。

同じく構成団体の神奈川労連は、9月14日に県知事あてに「県民の総意として行政を執行する神奈川県が、県民の意見が分かれる安倍元首相の『国葬』に際し、半旗・弔旗の掲揚や記帳台の設置など、県民に弔意を強要するような憲法違反の行為を行わないこと」や、職員などに黙とうなどを強制しないことを求め、要請書を提出しました。

当日にも行動

『国葬』当日にも、抗議の意味も込めて宣伝行動などが、全国・県内各地でとりくまれました。

国会正門前には全体で約15000人、神奈川からも多くの県民が参加して、『国葬』強行に怒りの声をあげました。



県庁舎の半旗前で抗議する共産党県議団